

事業概要

補助事業番号 22-1-081

補助事業名 平成22年度 芸術文化の振興補助事業

補助事業者名 社団法人 日本クラフトデザイン協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本人の創意工夫で築いた高度で独自のクラフト文化を国内外にアピールすることにより、日本のクラフトデザインの普及を図ると共に、親子のふれあいワークショップを実施し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容等

名 称：第50回日本クラフト展

開 催 日：平成23年3月5日(土)～3月13日(日)

11:00～20:00 (最終日は16:00まで)

但し、東日本大震災発生の為、3月11日午後3時で閉場

会 場：丸ビルホール（東京都千代田区丸の内2-4-1丸の内ビルディング7階）

展 示 内 容：会員の作品・一般公募による入選作品・学生入選作品

主 催：社団法人日本クラフトデザイン協会

共 催：読売新聞社

特別協力：三菱地所株式会社

後 援：経済産業省 文化庁 財団法人日本産業デザイン振興会 NHK

入場者数：7,106名

○「クラフトデザインの動き・地域の新しい試み展」 併催事業

会場：丸ビルホール・ホワイトエ

出展者：16団体

○イベント：シンポジウム「煌めく・クラフト」

日 時：平成23年3月7日(月) 13:30～16:00

会 場：丸ビル8階 コンファレンススクエア Room5

内 容：第一部 「これからのクラフトを語る」

東京国立代美術館 唐澤昌宏課長を囲んで

第二部 「審査から見えて来たこと」

招待審査員 下川一哉（日経 BP 社日経デザイン編集長）

招待審査員 中村好文（建築家・日本大学生産工学部教授）

審査員 相川繁隆、野田収（JCDA 会員）

審査員長 長谷川武雄（JCDA 会員）

聴講者：80 名

○会員による素材別解説を 9 日間で 16 回を開催



○親子のワークショップ

「君たちの手が創る Part1」

名 称：「寄せ木細工と木になる気」

日 時：平成 22 年 8 月 17 日(木)

午前クラス 10：30～12：30 午後クラス 14：00～16：00

会 場：新丸の内ビル 10F 「エコッツリア」

参加者：52 名

「君たちの手が創る Part2」

日 時：平成 23 年 2 月 13 日(日)

午前クラス 10：30～12：30 午後クラス 14：00～16：00

会 場：丸の内オアゾ 1F ○○広場（オーオー広場 オープンスペース）

参加者：59 名



2. 予想される事業実施効果

①日本クラフト展

ここ数年若い世代のレベルの高い出品が増加している。自然素材と人の手との対話から生まれる「モノ」の温かさや大切さが見直されていると考えられる。

また、長い歴史に培われてきた日本の伝統、モノづくりの独自性を現代の生活に即してデザインされるクラフトの分野は他のデザインにも大きな影響を与えることになることが予想される。日本クラフト展はクラフトデザイン文化の核としての役割を、今後さらに重要になってくるものとする。

②親子のふれあいワークショップ

参加した親子は、このワークショップをきっかけに、自然素材やモノを創り出すこ

とに関心を持つだけでなく、伝統文化を身近に知ることになり、また、工芸素材を取り巻く話から地球規模の環境問題など学べる。その結果、次代を担う子どもたちとその家庭における対話が、活発で親密なものとなっていき、子ども達の夢へのきっかけを作るであろうと考える。そして、このワークショップを継続していくことによって、その効果は一つの大きな形をなすものと確信する。

3. 本事業により作成した印刷物

①日本クラフト展

応募要項 チラシ ポスター



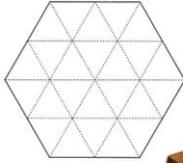
②親子のふれあいワークショップ

夏のワークショップ用テキスト 冬の予告チラシ

冬のワークショップチラシ ポスター



君たちの手が創る
オリジナルコースター



- 1 三角形やひし形の木片を選びましょう。
- 2 六角形になるように、組み合わせてみましょう。
- 3 2つの木片の裏面にそれぞれ接着剤をつけます。
- 4 木片を接着し、密着させていきましょう。
- 5 はみ出した接着剤はウェットティッシュで拭き取ります。
- 6 できあがった六角形を、輪ゴムでしっかりと止めましょう。
- 7 接着剤が完全に乾くまで（約5時間）待ちます。
- 8 乾いたら付属のサンドペーパーで表面をこすり、きれいにしましょう。
- 9 完成！！



社団法人日本クラフトデザイン協会
TEL:03-3370-1324 FAX:03-3372-4924
<http://www.craft.or.jp>

©本協会は登録商標の権利を行使していません。

親子ふれあいワークショップ
君たちの手が創る



part1
「寄木細工と気になる木」

世界には250,000種ほどの植物があり、私たちと密接な関係を作っています。家を造る木材、布を紡ぐ綿や麻、米や麦などの主食にはじまり野菜や果物など、きりがなくいろいろな形で私たちの生活を支えています。人間は自然からいただくだけでなく、緑化・緑地をすることで安心して生きていけるように工夫しました。もう一つ大切なことに、私たちが生きていくのに不可欠な酸素も植物が作り出していることがあります。また、その際には、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収しています。こうしてみると私たちの生活は、植物の存在の上に成り立っているともいえます。



植物の成長には、日光・空気・水・栄養素が必要です。日光は、光合成のエネルギー源として、空気中の二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。また、土壌中の栄養素も植物の成長に不可欠です。

その植物の世界の中で「木」は、ひと際長い年月にわたり成長を続け、高い樹冠を持ち、古くは猛獣から私たちの祖先を守ってくれました。成長するにしたがって太く硬くなる幹は、家や家具や食器となり、道や橋ともなり暮らしを支え、また、紙、燃料、医薬品、染料などとしても利用されてきたのです。そしてその「木」の多くは森林にあります。日本の森林率は国土の66%で、世界平均の33%を大きく上回っており、世界有数の森林国と言われています。この環境を大切に守っていきたいですね。



ヤダンハウジン ニホンク

カ)

ニシカワ マサノリ)

電話番号： 03-3370-1324
F A X： 03-3372-4924
E-mail：info@craft.or.jp
U R L：<http://www.craft.or.jp>